

生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター

施設名/足立区佐野地域学習センター・図書館・体育館

【評価対象年度】令和6年度 【自己評価】令和7年4月6日 【評価委員会】令和7年8月13日
【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目		
1 管理 状況	A 適切な 管理の履 行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか(評価点×2)		評価点×2
			指定管理者	担当課
				評価委員会
		1 施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付 など	3.0 (×2)	3.0 (×2)
		2 職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置 など	3.0 (×2)	3.0 (×2)
		3 人材育成の取り組み(意識、接遇の向上) ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施 など	5.0 (×2)	5.0 (×2)
				21.6 (満点30点)
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】令和6年度は11月に学習センター、図書館合同で弁護士を講師とした公共施設の窓口対応と法律についての研修を実施。スタッフのコンプライアンスに対する知識を深めた。専門家に直接相談する機会を得ることにより様々な来館者への対応や良好な施設運営につながった。その他に接遇力向上に向け、手話研修を9月に実施。障がいのある方への理解を深めるとともにこの研修の開催から小学校への手話体験アウトリーチ事業へもつなげることが出来た。	
			【改善すべき点・課題等】長らく起きていなかった受付システム誤操作によるミスが1件発生した。受付状態のシステム表示の誤認識が原因であった。発生後全スタッフにシステム操作の再確認を行った。今後操作ミスが起こらないように努めるとともに、起きてしまった際には迅速に全スタッフに事例共有し、謙虚さを保ち業務にあたっていく。	
		区記入欄	【特記事項】項目1について、受付システムのミスが1件発生したが、重複予約発覚後の対応として、後から予約が入った3団体には丁寧に説明のうえ、別日の利用に変更する了承をいただき大きなトラブルにまではなっていない。また、システムの仕様および表示が分かりづらい点もミスの要因であったと考える。利用者への対応および今後の対応策の徹底を行っており、減点とまではしない。項目3について、実際に発生したカスタマーハラスメントを契機とし、学習センター・図書館合同で弁護士を講師とした研修を実施。実際の問題行為に研修の成果を発揮できた点を評価し、水準点に2点加点する。	
		評価委員会記入欄	【評価すべき点】実際にあった課題に対して速やかに研修会を実施するなど研修は充実している。また危機管理の視点を持ち、職員を守る取り組みがなされている。 【改善すべき点】 【その他注意点】カスタマーハラスメントが発生した件は、事前研修ができていればさらに良かったと考える。	

施設の安全性は確保されているか		評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員会
1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応 など	5.0	4.0	16.9 (満点20点)
	2施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案 など	3.0	3.0	
	3利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理 など	5.0	5.0	
	4危機管理（防災・防犯・事故対応）が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知 など	5.0	5.0	
B 安全性 の 確保	指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】安全の確保について様々な方で強化を図った。設備については毎日行っている定時巡回とは別にエリアごとの施設点検表を作成し、月ごとの点検を取り入れた。これまでの巡回では気付けなかった消火器表示プレートの色褪せや駐輪場の塗装の剥がれも発見することが出来た。さらに駐輪場の塗装については指定管理者費用により迅速に塗装工事を行った。また10月に急遽解散にともなう選挙が実施されることとなり期日前投票会場とすでに開催が決まっていたふれあいまつりが同日開催となった。そのため通常の5倍以上の来館者が見込まれ混雑が予想された。駐車場に専門交通誘導員を配置し事故防止に努めた。防犯の取り組みでは昨年度から引き続き駐輪場鍵かけ強化月間を実施。実施日数を昨年から2倍以上の150日間とし、センサーライトも増設し、さらなる駐輪場の防犯強化を図った。また来館者にオリジナルの防犯に関するクイズを作成しチラシを配布し幅広い年代の防犯意識の向上にもつながった。成果として無施錠自転車は年間を通して40%以上減少した。より快適なセンターを目指し、様々な備品の充実を行った。アイス枕や氷嚢などの熱中症対策用品に加え、上着取り違い防止のためのコート札、チェアパッドなどを用意し利便性の向上を図るとともにさらなるサービス向上とサークル活動や利用者への継続活動につなげた。		
		【改善すべき点・課題等】竣工から43年、大規模改修から14年経ており建物の老朽化は否めない施設である。このような施設であるからこそ施設管理者が日常管理を怠らず、細かな保全対策を講じていく。区へは引き続き適切な工事を提案し、丁寧な施設管理に努める。		
	区 記入欄	【特記事項】項目1について、自主点検表や日常巡回において、施設の安全管理を徹底している取り組みを評価し、水準点に1点加点とする。項目3について、ふれあいまつり、住区まつりおよび期日前投票が同日で実施された際には、多くの来場者が予想されることから、駐車場に民間警備員を配置し、住区センターと協力して混乱や事故が生じることなく運営できた。また利用者の視点に立ち、利用者ニーズを的確に捉えた物品を用意し、きめ細やかなサービスを提供することができた。以上のことから、水準点に2点加点する。項目4について、令和6年度は区が推進する夏休み子どもの居場所づくり事業を開始したことから、例年になく子どもの来館者数が増加したが、年3回の自転車施錠キャンペーンを実施し、無施錠自転車数が減少したことを成果として評価し、水準点に2点加点する。		
	評価 委員会 記入欄	【評価すべき点】無施錠自転車に対する地道な取り組みにより、自転車利用の子どもの来館が増える中でも無施錠自転車を減少させたなど、各種のきめ細かな対策がとられている点を評価したい。 【改善すべき点】 【その他注意点】		

C 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施 など	3.0	3.0	9.0 (満点15点)
	2	個人情報事故への対応、適正管理 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0	
	3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	3.0	3.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】本社において情報マネジメントシステムISO27001を取得。センター、図書館においても不定期に情報取り扱い監査を実施している。情報監視チェックリストによる毎月のチェックも実施。入社時は誓約書を取り交わすなど企業としても情報の取り扱いの適正化を図っている。			
	区記入欄	【改善すべき点・課題等】スタッフの個人情報の取り扱いに対する意識を高め、常に注意を払えるよう引き続き教育研修を行うとともに危険予知訓練などを通して今後も適切に取り扱っていく。またSNSや記録写真などの取り扱いについて知識を深め、様々な情報の取り扱いに細心の注意を払えるよう努めていく。			
	評価委員記入欄	【特記事項】問題なく取り組めている。個人情報管理についても適切に行っている。			
		【評価すべき点】法令等の遵守は適切に実施されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
	D 適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか		評価点	
			指定管理者	担当課	評価委員
1		適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和6年度収支 (11,382千円) ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備 など	3.0	3.0	3.0 (満点5点)
指定管理者記入欄		【アピールポイント】経理全般の処理は原則として本社でおこない、センターでは最低限の金銭の取り扱いとしている。センターでの経理担当者、責任者によるダブルチェックを行い、その後本社へ報告する流れとなっている。急な発熱などでキャンセルの多い乳幼児対象事業などの受講料の返金については柔軟に対応し、多くの方にご参加いただけるよう努めた。			
区記入欄		【改善すべき点・課題等】入出金ミスが1件発生した。入金済みであった講座受講料を再度お預かりしてしまったミスである。入出金システムでは二重入金は出来ないシステムのため、お客様にはすぐに返金し、実害は生じていない。講座受講料の帳票出力時には入金済みであるかの確認を怠らないよう全スタッフに周知した。その後同じミスは起きていない。消耗品の購入においても環境を意識した物品購入をより積極的に行っていく。地域住民が必要とし喜ばれる施設運営を行い、ニーズに即した事業を引き続き実施することで指定管理者として適切な指定管理料執行に努めていく。			
評価委員記入欄		【特記事項】入出金のミスが1件発生したが、再発防止策を講じ同様のミスが未発生であり、ミスの割合も考慮し減点しない。今回のように一度に複数の講座の支払いをされた場合も、1件ごとに確実に入金確認をするよう徹底を求める。乳幼児対象事業などの利用者の状況に応じた柔軟な対応や利用者ニーズに応える努力を継続してほしい。			
	【評価すべき点】入出金ミスが発生した際の事後対応が適切であったことは評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】利用者の状況に応じた柔軟な対応に期待したい。				

大項目		中項目	確認項目			
2 事業 効果	A 学習事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、SNS、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	5.0	5.0	19.8 (満点20点)
		2	A型事業（事本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆A型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		4	C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】子どもや家族連れの新規受講者の増加を目指して重点的に取り組んだ一年であった。利用促進に際しては近隣の小学校に出向いて積極的な広報活動を行った。東和センターとの新たな連携事業やフリースペースの活性化にも取り組み、区が推進する夏休み子どもの居場所づくり事業との相乗的な効果も相まって過去最多水準となる子どもの来館を促すことができた。指定管理者独自で行った子ども向け講座の無料化はこれまでにない新たな試みとなった。			
			【改善すべき点・課題等】サロン事業がおしなべて小規模化している。今年度を最後に廃止したものもある。入れ替わりで新たなサロンの企画を検討していく。長年開催している講座については受講者のリピーター率が高く、体験会やお試し講座などの仕掛けにより新規受講者を呼び込む工夫が求められている。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、夏休みの子ども向け講座のPRのため、小学校へのチラシ配布とLINE配信のタイミングを合わせるにより、LINE登録者数を増加させたことを成果として評価し、水準点に2点加点する。項目2について、事業者独自に無料で子ども・子育て世代向け講座を実施し、新規利用者の獲得につなげた点を成果として評価し、水準点に2点加点する。項目3について、夏休み子どもの居場所づくり事業を契機として、小学生向けに当日受付のサロン（ボードゲーム、囲碁将棋、おりがみ）を実施するなど、子どもの居場所づくりに貢献し、利用者増につなげた点を成果として評価し、水準点に2点加点する。項目4について、「健康いきいきボイストレーニングサロン」のステップアップ事業を新規企画し、継続受講者70%という目標を上回り、96%という高い継続率を達成した点を成果として評価し、水準点に2点加点する。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】全体的に積極性が見られ、効果も出ている。子ども来館への取り組みは、子ども向け講座の無償化やLINEなどの積極的な広報・周知活動による成果が認められる。C型事業であるボイストレーニングに関しても評価できる。 【改善すべき点】フリースペース利用促進の取り組みについては、声掛けを行い誘導したことはそれなりに有効で、フリースペースの利用者増加につながっているが、普通の活動に思え、消極的であると感じた。別の発想や工夫も考えてほしい。また、新たなサロンの企画にも期待する。 【その他注意点】			
	B 学習支援の取り組み	施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、発表の場の提供・拡充 など	5.0	4.0	14.0 (満点15点)
		2	区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携 など	5.0	5.0	
		3	地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域資源の発掘、ボランティア活用 など	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】サークル活動の現状を把握すべく登録サークルにアンケート調査を実施した。安定的に活動されているが、現状維持のサークルが多数を占めた。アンケート結果を踏まえ利用者懇談会の開催回数を減らし、活動紹介の強化などサークル活動の支援をおこなうことができた。また12月の人権週間に合わせて初めて人権ミニフェアを開催。パネル展示や人権講演会を開催し人権を考える機会を提供した。団体との連携では多様性と防災をテーマとした地域防災フェスティバルをNPO法人との共催で初開催。近隣公園での地域マルシェやコミュニティタイムラインの重要性を訴えるイベントを開催した。			
			【改善すべき点・課題等】サークルのアウトリーチ事業について、コロナ前の実施数に戻っていない。次年度はアウトリーチ先を積極的に探し、地域とサークルをつなげる橋渡しを積極的に行っていきたい。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、令和6年度中の登録団体への具体的な支援策としては、利用者懇談会の回数変更にとどまったが、面談形式にてニーズを把握した取り組みを評価し、水準点に1点加点する。令和7年度においては、サイネージでの広報、アウトリーチなど、サークル支援講座以外の支援策の実施に期待する。項目2については、新しい連携先を開拓し、防災や多様性という取り組みへのハードルが高いテーマによるイベントを開催した。3日間でのべ350人近くの方が来場され、地域住民の理解促進および意識向上に寄与しており、水準点に2点加点する。項目3について、人権啓発ビデオ上映会参加者数が全体として伸び悩む中であって、人権ミニフェア開催後は参加者数が増加しており一定の成果をあげた点を評価し、水準点に2点加点する。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】各種の活動が行われており一定の効果をあげている点は評価したい。特に、防災や多様性をテーマにした「ミモザフェス」は、施設・団体と連携して取り組み成果をあげた。危機管理やユニバーサル視点が含まれており、住民の意識向上にもつながった。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

	仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
C 図書館事業の取り組み	1 図書館の館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果 など	5.0	5.0	10.0 (満点10点)
	2 読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果 など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】外国にルーツを持つ親子が増加しており、利便性を図るため一般書と児童書の外国語図書を集約、拡大し利便性の向上を図った。またSDGsを意識し区民が所有する不要図書をリサイクルするコーナーを新規に設置した。廃棄図書削減につながり、活発に利用され大変好評である。 アウトリーチ事業では「月いちブックマーク（読む団地）」でのおはなし会がNHK番組「ひるまえほっと」で放送された。乳幼児から高齢者まであらゆる世代が楽しめる事業をバランス良く実施できた。幼児や小学生は体験型の事業の他、来館して本を借りるだけで手軽に参加できる事業も実施した。大人向けには朗読会や発声を使ったフレイル予防の講座が好評だった。 地域の町会に出張し、おはなし会や朗読会を実施した。出張朗読会では図書館の朗読会に参加した区民が図書館員と一緒に朗読を発表することができた。			
	【改善すべき点・課題等】幅広い層に対する事業をおこなってきたが、参加者が少ない事業もあるので常に見直しをしてブラッシュアップするようにしたい。			
	区記入欄 【特記事項】外国語図書の配置の見直しにより利用者にわかりやすい書架づくりに努めた。また、来館者参加型事業では、児童の参加も多く、資料の貸出にも繋がった。さらに、今年度初めて実施した町会でのイベントでは、区民との交流が生まれ、今後の活動の可能性を拡げることになった。また、「読む団地」での出張イベントでは、NHKの取材で取り上げられるなど図書館事業のPRにも繋がっている点を評価する。			
	評価委員記入欄 【評価すべき点】各事業において、児童を対象とした企画に取り組んでいる点や、区民との交流が十分に図られている点の評価する。また、メディアに取り上げられるなど訴求力の高い活動を行っている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
	適切な利用状況となっているか (環境の変化など外部要因を考慮)	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
D 利用の状況	1 学習施設・体育館等の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設47%、体育館88% ＜参考＞学習施設目標値 57.3%（前年度利用率+3%）	3.0	3.0	7.1 (満点10点)
	2 図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数（88,164人） ※基準値/84,295人 貸出冊数（146,556冊） ※基準値/146,113冊	4.0	4.0	
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】学習施設の利用率はほぼ横ばいであった。サークル活動の継続を支援するため備品の充実やサークル物品が置ける倉庫等の整備をおこない、サークル活動を支援した。図書館では来館することや本を借りることで参加できる事業を増やし、来館者数、貸出数の増加につながった。乳幼児から高齢者まであらゆる世代が楽しめる事業を意識し企画した。 【改善すべき点・課題等】学習施設の夜間の利用率向上が例年課題となっている。夜間利用率の向上には夜間講座の継続的な実施や、学習スペースとしての開放など柔軟な利用方法を検討していきたい。また教養室のような用途が限られる貸出施設では貸出のみに限定せず、利用のない時は乳幼児お休みスペースにするなど工夫が求められると考える。図書館では利用者数の増加に比べて貸出数が伸び悩んだ。来館してくれた方が一冊でも多く本を借りていくような工夫に努めたい。			
	区記入欄 【特記事項】項目1について、学習施設の利用率は基準値を上回っており、前年度と同水準の54.2%であった。さらなる利用率の向上において課題となっている夜間の時間帯および用途が限られる教養室（和室）の利用促進への取り組みに期待する。項目2について、貸出冊数前年比増加率の加点基準を達成したため、水準点に1点加点する。			
	評価委員記入欄 【評価すべき点】図書館の利用について、利用者数、貸出冊数ともに基準に達している。 【改善すべき点】利用者数に比較して貸出冊数は少ない状況にある。図書館については、各種の試みがなされているが、それが必ずしも図書貸出数の増という目に見える形にはなっていないという点においては、今後一層の努力を期待したい。 【その他注意点】学習施設について、和室の新たな利用内容に期待する。図書館の利用について、図書の閲覧・貸出ではない部分で来ている方が何を目的に来ているのか深掘りして分析すると、さらに利用者数が増えたり、あるいは貸出につながったりするのではないか。その点が課題になると考える。			

	3分野連携事業を計画通り実施しているか	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
E 3分野 連携事業	1 3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の3種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信（ブッシュ型発信等）をしているか など	5.0	5.0	4.8 (満点5点)
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】チャレンジ事業としておはなし会とミニトランポリン体験を企画した。本来体育館でおこなうトランポリンをレクリエーションホールで気軽に体験していただき、トランポリン講座への関心につながった。「おはなし会と折り紙体験」や佐野いこいの森での青空おはなし会など昨年度とは違った関心喚起プログラムを取り入れ、ご好評をいただいた。			
	【改善すべき点・課題等】参加者が昨年度より少なく、新規参加者の獲得や継続してご参加いただくことの難しさを感じた。積極的な声かけを続ける他、LINEやInstagramの投稿を工夫し、興味を持っていただけるようPRの見直しをおこないたい。			
	区記入欄 【特記事項】新規目玉事業として、トランポリン体験を実施し、既存の動機づけ（スタンプカード）も広報強化をしてブラッシュアップしており、一定の成果があったと評価し、水準点に2点加点する。			
	評価委員記入欄 【評価すべき点】各種の活動が行われている。スタンプカード等の取り組みによるモチベーションの維持と拡大に期待したい。 【改善すべき点】参加者数は必ずしも伸びていない。 【その他注意点】			
	5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか (評価点×3)	評価点×3		
		指定管理者	担当課	評価委員
F 主要事業の企画・実施・成果	1 主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			24.6 (満点30点)
	2 主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか			
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】講座から地域活動へとつなげる主要事業である「うさの塾」の学習メニューを増やした。フラワーアレンジメントを親子で体験していただき花や緑に親しむ機会を無償で提供した。その結果小学生と保護者の園芸サポーターが誕生した。サポーター募集からサポーター講師を努めていただいている絵画教室ではふれあいまつりでのワークショップを初めて開催した。また昨年度から開催している小中学生を対象とした声優教室は半年間の長期講座のため、受講生の第二の居場所となっている。加えてふれあいまつりにて成果発表の場を設けたことにより、幅広い世代の方に見ていただくことができ、受講生の自己肯定感向上に繋がった。さのサポーターとして計43名を認定した。			
	【改善すべき点・課題等】うさの塾の学習メニューの充実とまでは言えないと感じる。区民による学習メニューの企画もサポーター講師からの企画のみに留まっている。最終年に向けて新規サポーターを交流会に招待し様々な意見をいただき学習メニューの企画につなげたい。講座参加から地域貢献へと学びの循環の仕組みを確立し定着させていく。			
	区記入欄 【特記事項】うさの塾のメニューの充実までには至らなかったものの、大正琴講座を新設した。また、ふれあいまつりでは各講座による発表やワークショップを実施し、学びの成果を地域に還元した。計画最終年度である令和7年度には、サポーター間の交流を通じた新規事業の提案が生まれるよう、センターにおけるコーディネーター機能の発揮を期待する。			
	評価委員記入欄 【評価すべき点】積極的な活動が展開されている。アプローチも効果的であり、子どもの来館のきっかけとして実施したフラワーアレンジメント教室では、作成した寄せ植えの鉢を持ち帰りとするのではなくセンターに設置し、その後の来館のきっかけとするのは良い発想である。 【改善すべき点】必ずしも大きな成果には結びついていない。 【その他注意点】			

G 利用者の満足度 (評価点はアンケート調査による)	利用者の満足を得られているか(評価点×2)		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4.2 (×2)	33.0 (満点40点)
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示 など		4.7 (×2)	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙 など		4.0 (×2)	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上 など		3.6 (×2)	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】接客対応について今年度は満足との回答が昨年度より上昇した。自由意見の中には日常清掃に際していつも綺麗で気持ち良いとの意見も複数いただいている。引き続き清潔な施設を保てるよう清掃スタッフのみならず事務スタッフも館内美化に、より一層力を入れていきたい。接遇についても来館された方すべてにご満足いただけるよう定期的な研修をおこない、円滑なコミュニケーションから利用者の拡大を目指したい。			
		【改善すべき点・課題等】アンケートの回答者に男女比等少々偏りがあったと感じる。			
	区記入欄	【特記事項】令和6年度は、講座・イベント参加者の回答が多かったことから、男女比等に偏りが生じた可能性があるが、結果は概ね前年度並みか上昇傾向となっている。指定管理者記入のとおりに、施設清掃に関する好意的な意見が寄せられた点は評価できる。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】アンケートからも講座の満足度が高いことが伺える。 【改善すべき点】要望が高い講座については、回数増が可能かどうか検討をしてほしい。 【その他注意点】利用者の声が清掃スタッフや事務スタッフのモチベーションにもつながっている。			
合計点			109.0 (満点130点)	140.0 (満点=170点)	163.8 (満点=200点)
特記事項 (評価委員会による総合評価を記入)		施設運営全体で、利用者目線での対応がなされている。また、アンケートからも講座の満足度が高いことが伺え、積極的な事業運営であると評価できる。様々な取り組みから利用者促進に向けた努力が伺え、魅力も伝わってくる。今後も継続して取り組んでほしい。一方で、図書館については、各種の試みがなされているが、それが必ずしも図書貸出数の増加という目に見える形にはなっていないという点においては、今後一層の努力を期待したい。			

【評価委員会評価結果】

評価委員会 評価結果	得点	評価	⇒	ランクダウン 有・無	⇒	総合評価
	163	A-				

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】 該当項目なし。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」・・・評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、 「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。